



バイタルリンクを使用したICT 医療介護連携

札幌ひばりが丘病院医療連携システム

医療法人潤和会 札幌ひばりが丘病院
理事長・院長

高橋大賀

① 立ち上げの動機

当院は機能強化型在宅療養支援病院として、地域の病院、診療所、訪問看護ステーションなどとの緊密な協力体制を通じて、地域包括ケアシステムの構築を目指している。

訪問診療における、情報収集と共有には課題を持っていた。紙カルテは持ち運びが大変で、タイムリーな情報共有は困難だが、クラウド型電子カルテなどはPC入力不得意なスタッフも多く、導入をためらっていた。PC入力に不安を抱えているスタッフでも手軽に使用できるアプリがないかと考えていたところに、帝人ファーマ社よりバイタルリンクの紹介を受け、システム導入の有効性を検証するための試行期間を経て、平成28年3月に正式契約を結んだ。

② システムの構成

バイタルリンクはクラウド型のサービスで、PCやタブレット、スマートフォンから閲覧書き込みが可能。導入後のシステム管理にもほとんど手間がかからない。

③ セキュリティ

電子証明書とID・パスワードの二要素による認証と、SSL/TLS通信による暗号化。

④ 情報共有の範囲

当院の医師4名と連携先クリニックの医師1名、在宅医療担当の看護師と同法人内の訪問看護ステーションの看護師、調剤薬局など計10人が利用中。

【主な使用方法】

患者訪問時に、医師は診察内容、看護師は看護所見を入力し、連絡帳機能で最新のケア内容を多職種間で共有、褥瘡患部のような写真のほうが伝わりやすい内容については写真を貼り、連絡帳で共有している。バイタルデータはグラフ化により、状態を推移で把握。

【効果】

診療方針や手続きについての相談の電話も減り、ご家族や患者さんの安心感にもつながっていると感じている。

⑤ 費用と資金繰り

今回のネットワーク構築時のコストはバイタルリ

ンク初期導入費用と毎月の使用料、さらに当院のネットワークでは個人端末を利用しないこととしているため、専用のスマートフォン5台、タブレット5台、ノートPCを購入した。合わせて約150万円の予算が必要となったが、北海道が進める患者情報共有ネットワーク構築事業の対象となるため、全体の1/2の補助を受けることができた。

⑥ 規模・範囲

- ・訪問診療医師（札幌ひばりが丘病院）
- ・外来看護師（札幌ひばりが丘病院）
- ・訪問看護ステーション看護師（法人内）
- ・事務（札幌ひばりが丘病院）
- ・地域医療支援センター（札幌ひばりが丘病院）
- ・調剤薬局（パール薬局）
- ・連携する在宅支援診療所、医師、看護師、事務（活き粋在宅クリニック）

⑦ 評価

利用後約1ヵ月半でトライアルメンバー10名へアンケートを取ったところ、端末の操作や運用に慣れるまで8名の職員が導入時苦労したと感じた反面、10名全員が業務効率や情報共有に何らかの改善を感じたとの回答があった。また一部の職員からは実際に作業時間が短縮されているとの意見も上がっている。

⑧ 課題

課題として、各職種によって、入力内容にばらつきがあるため、工夫、勉強会などを定期的に行うことが必要かと考える。

⑨ 改善点

システムへの改善要望は、定期的に行っている運営会議へ帝人ファーマの担当者にも入っていただき、伝えている。これまで数回システムのアップデートがあり、現場からの意見も反映されている。

⑩ 要望

特にありません。